

# あおぞら保育園

あおぞら保育園が開園しました。

2月1日、宮領ワークセンターの2階に「あおぞら保育園」が開園し、現在従業員のお子様3名をお預かりしています。4月には、地域から2名入園される予定です。

日当たりの良いお部屋で、保育士と一緒に毎日ボール遊びや積み木、お絵かき等をして楽しく過ごしています。平成会職員によるミュージックケアも楽しみの一つです。

入園当初は、お母さんと離れるのが辛くてしばらく涙が出ていましたが、少しずつ園にも慣れ、笑顔で遊べるようになり、嬉しく思っています。

定員12名という小さな園ですが、小さいからこそ一人ひとりの思いを大切に、子どもたちの感性を豊かに、のびのびと成長できる保育に努めたいと考えております。



仕事帰りでお迎えのお母さんと

そして、産休・育休を終えたお母さんたちが職場復帰し、安心して仕事に専念できるよう、しっかりとサポートしてまいります。皆様どうぞよろしくお願いたします。

園長 貞重 文代

## 多機能型事業所あさひ

「地域の困りごと」に寄り添って

竹原市下野町大応地区の自治会長さんから「高齢の方が、思うように外出して買い物出来なくて困っている」との相談があり、あさひの車両を使って買物の送迎をお手伝いすることになりました。

昨年8月から、地域の自治会長さんや地区社会福祉協議会長さんを交えて話し合いを重ね、ようやく1月18日(土)に第1回目の実施にこぎつきました。

当日は、地域の方々や民生委員さんの助けもあり、9名の方の買い物送迎することが出来ました。利用された方からは、「私は2年ぶりにこのスーパーで買い物したよ」「毎週利用したいわ」といった感想があり、好評を得ることが出来ました。4月からは、月1回程度のペースで行い、できるだけ多くの方にご利用頂きたいと考えています。



地域にある一施設として、地域の抱える「困りごと」が解消出来るように取り組むことにより、「支え合いの地域づくり」に貢献できたいと思っております。

主任 岩岡 智之



心と体のオアシス

入居者のKさんは、車いすの生活で下肢の浮腫に悩まされ、夜も眠れないことが多くあります。自分の思うようにはできないことでストレスが多く、精神的に不安定な状態です。

この度、訪問医療マッサージを受けることになり、週に2回〜3回の割合で施術師さんに来て頂くことになりました。

マッサージは勿論、施術師さんとの会話も楽しみで、日中活動で季節の飾りを作っていることや缶潰し作業のこと、好きなアイドルの話などを楽しそうにしておられ、体も心も癒されているように感じます。

Kさんは「マッサージに来て下さるのが楽しみで、色々話もできて楽しい。夜もよく眠れるようになった。腰や足が痛いのが楽になった」と、嬉しそうに話して下さいました。



精神的にも落ち着いて笑顔が多く見られるようになったことに安堵しています。マッサージを受けることが、体と心のオアシスになっているのだと感じています。

支援員 古本 菜摘

## 西の池学園

地域のセーフティネットの役割を

1月31日、中国地区障害者支援施設部会にて「入所施設の強みを活かしたショートステイの取り組み」について発表しました。

虐待からの一時保護施設として受け入れをしたことや、ご家族の病気や冠婚葬祭時の緊急ショートステイの受け入れなどの取り組みについて紹介する中で、改めて入所施設の役割について考えることが出来ました。

入所施設である西の池学園は、緊急時の要請に対し、タイムリーな受付や、居住スペースの提供、現場の支援員と看護師や栄養士が連携したチームサポートを行うことが出来ます。こうした入所施設の強みを活かして、迅速かつ臨機応変な対応をしていきたいと思えます。

現在、東広島においても障害のある人が地域で安心して暮らすことが出来る仕組みとして「地域生活支援システム」が始動しています。ここでも、緊急時の受け入れが想定されており、西の池学園も積極的に対応すること



によって、地域のセーフティネットとしての役割を果たしていきたいと思えます。

シヨートステイ担当 藤井 郡

## 放課後等デイサービス 夕風

卒業、おめでとう！

夕風の勤務になり3年が経ちました。夕風では、自立に向けた支援プログラムを用意することで、子どもたちが社会人になって自立して生活していけるよう支援をしています。

Aさんは高等部1年生の時、夕風に来て何をしたらいいのか分からず、立ち止まってしまいうことがありました。Aさんに分かりやすいようにスケジュールボードを用意し、「課題」や「掃除」、そして「作業」といった夕風での活動を、文字や絵を使い視覚的に分かりやすくしました。卒業前には、活動が終わるごとに「終わりました。次は掃除をします」と言って、自主的に出来るようになりました。

そんなAさんも、この3月に夕風を卒業されました。最後の利用日に、夕風職員で作った卒業証書を手渡し、夕風での生活についてと尋ねると「とても楽しかったです。また遊びに来ます」と言われ、とても嬉しく感じました。



卒業おめでとうござい  
ます。

保育士 中井 隆博

## 宮領デイセンター

成人式に込めた思い

この度、宮領デイセンターで3名の利用者さんの成人式を行いました。いつも使っているロビーに「成人式」の看板を設置し、椅子を並べ、簡単ではありますが会場を作りました。そこに、春色のドレスやジャケットを羽織った3名の新成人をお迎えしました。いつもと違う雰囲気、最初は少し緊張した面持ちでしたが、所長の祝辞、記念の色紙を受け取り、写真撮影する頃にはいつものリラックスした表情が戻ってきました。

どうしても成人式をした理由がありました。自閉症などの発達障害がある人は、普段の生活とは異なる環境やイベント、人混みが苦手なケースが多く、一般の成人式に出席するには容易ではありません。でも、障害のある新成人の方々に、「自分も大人になった」と感じてほしい。そして二十歳という節目を万感の思いで迎えておられるであろうご家族のためにも、職員と仲間と心からお祝いをしたかったのです。

後日、連絡帳にはお母さまから、「成人式に出席できなかったし、写真も撮っていませんでしたので、宮領デイでもらってよかったです」と嬉しい言葉を頂き、職員皆で喜び合いました。

「成人式」という人生の節目に関われたことに感謝するとともに、皆さんのこれからの歩みに寄り添っていく事への責任も感じた一日でした。

支援員 大角 洋子

※誌面の写真、名前については、ご本人の同意を得て掲載しています。